

視 察 報 告

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は、さる2月5日・6日の両日で愛知県東海市と兵庫県丹波市へ行政視察にお伺いさせていただきました。

愛知県東海市（令和6年2月5日）

東海市議会は、平成25年9月に東海市議会基本条例を施行され、東海市議会における議会のあり方を示す重要な条例とし、制定から5年を経過する中で、議会基本条例の目的達成状況について検証を行う必要が有るとして、平成30年6月の議会運営委員会で議会基本条例検証特別委員会の設置が決定されました。その特別委員会は、10名の委員が議長の指名により選任され、調査研究について特別委員会で基本的な事項を協議し、より具体的な検証を行うために、2つの分科会を設置し、担当する条文ごとに詳細な検証を行い、分科会での検証結果を受け、最終的な検証結果を議会基本条例検証特別委員会で行っておられ、東海市議会さんは議会基本条例を詳細に渡し、より綿密な検証を行っている姿勢を感じることができました。



兵庫県丹波市（令和6年2月6日）

2日目に訪問しました丹波市議会では、「丹波市議会☆ミライプロジェクト」の取り組みについて視察させていただきました。プロジェクトのきっかけは、平成29年度の「議員研修」の位置付けで、「これからの地域に求められる持続可能な地域創成とは・関係人口から考える」を研修テーマとして、丹波市議会議員19人、丹波篠山市議会議員16人の参加で開催し、その時の講師を務められました福知山公立大学の教授から、大学生・高校生と市議会議員の懇談会開催の提案があり、次年度より福知山公立大学の協力のもと、市議会議員と若者の距離が縮まり、市議会議員としても新たな視点や気づきを得ると共に、若者の意見や考えが反映される「丹波市議会☆ミライプロジェクト」が実施されることになりました。未来を担う若者の声を聴くことは重要であり、全国的にも課題である政治への関心や参加意欲を高めるため、積極的に取り組んでおられました。



視 察 報 告

広報広聴特別委員会

和歌山県和歌山市（令和6年1月30日） 議会の PR 及び広報の取り組みについて

任意の委員会を平成30年に常設委員会にし、市民の方から議会を身近に捉えてもらうためにラジオ放送で定例会告知、Facebook、Instagram、YouTube、「和歌山市議会チャンネル」デジタルサイネージなどデジタルの利用、従来の広報誌発行及びアニメーションを使った動画をDVDにし小中学校、高校へ配布するなど様々なもので議会の堅苦しさを取り除いた情報発信をしており、議会だよりは中核市議長会議会報コンクールで3年連続で受賞された。表紙は特に中を覗いてみたくなるような写真であり土岐市議会も市民の皆さんにもっと身近に感じてもらえるよう行っていました。



京都府京都市（令和6年1月31日） 京都市セミナー受講『住民とより良い関係を築く』

当セミナーは議会に多くの人が関心を持って頂き、より身近な議会にするためにデジタル広報と紙の連携、イベントなどの議場開放、子どもの議会体験などといった各議会での事例が紹介されました。広報誌は表紙がとても大事で、ある議会では地元の高校の美術部の生徒さんの描いたイラストであったり写真部の生徒さんが撮影した写真を表紙につかうなど住民とのコラボで関心を集めている。中身についても文字ばかりではなく写真やイラストを多く取り入れることが重要であるとのこと。広報広聴が充実すると議会改革が進み住民からも身近な存在となるとのこと。土岐市議会も今後市民の皆さんとより良い関係を築いてまいります。

